

平成 27 年（2015 年）12 月那覇市議会定例会

一 般 質 問 発 言 通 告 書 （ 4 日 目 ）

平成 27 年 12 月 14 日（月）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	亀 島 賢二郎 (無 所 属) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 NAHAMA マ ラ ソンについ て 2 公園整備に ついて 3 保健行政に ついて 4 外国人対応 について 5 認可外保育 園について 6 教育行政に ついて	(1) 第25回大会から第31回大会までの不参加 者数 (2) ハーフマラソン導入について 新都心公園多目的広場人工芝整備の進捗状況 (1) 天妃小学校で取り組まれているフッ化物 洗口について、参加児童数を伺う (2) HIV感染に対する本市の取り組み (1) 自転車の講習会を行うべきだと考えるが、 本市の見解を伺う (2) 泊港周辺で、集団で飲食する外国人につい て、本市はどのように対応するのか 認可外保育園に対する本市の支援を伺う 那覇市内の小学校で行われる学習発表会等が あるが、沖縄の文化、芸能、平和学習などの発表 に取り組んでいる小学校は何校あるか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 27 年 12 月 14 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	野 原 嘉 孝 (公 明 党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 環境美化と地域づくりに ついて 2 真嘉比川の 治水対策につ いて 3 市民協働の まちづくりに ついて 4 年金申請の 手続きについ て	桜の植樹を通して環境美化に貢献しながら地 域づくりに役立てていこうとする取り組みにつ いて以下当局の見解を伺う (1) 真嘉比遊水地の中池、下池の周辺散策路の 土手沿いに昨年 12 月に 70 本、先月 11 月に 60 本の「陽光桜」を地域住民が協力し合っ て植樹したが、当局としてどのように評価し ているか (2) 桜の名所づくり事業の推進状況はどうな っているか 真嘉比遊水地は真嘉比川の治水対策のために 県によって整備されたが、これまで一度も本来の 機能を果たしたことがない。平成 25 年の 9 月議 会で改善策を県に求めるよう提案したが、その後 の対応はどうなったか伺う 市民の協働によるまちづくりとボランティア 活動について以下伺う (1) まちづくり協働推進課が進める事業の概 要、及び本市が推奨しているボランティア活 動の概要について (2) 同課で対応している個人、団体に対する表 彰、及び感謝状について 障害年金の申請時に「初診日」の申告要件があ るが、今年 10 月から改善された。どのような内 容なのか、また、今回の措置により本市において 救済される方はどれくらい見込まれるか伺う

一般質問（４日目） 平成 27 年 12 月 14 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 NAHAマ ラソンの運営 について	大会の定員と当日参加者数について以下の状況を伺う (1) 第 28、29 回大会の定員と申込者数、及び当日の参加者数 (2) 第 30、31 回大会の定員と仮申込者数、及び当選者数と当日の参加者数
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 27 年 12 月 14 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	奥 間 亮 (自 民 党) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 保育行政 (多子世帯への支援と夜間保育)について 2 保育士の待遇改善について 3 こども医療費助成について 4 こどもの貧困問題について	(1) こどもの多い世帯に対する子育て支援をさらに充実させるべきである。前回の 9 月議会でも要請した「多子世帯への保育助成」の実施について伺う (2) 24 時間安心して子育てができる那覇市を実現させるための一つとして、夜間保育の確保も重要である。夜間保育の助成について伺う 保育士の待遇を改善し、支援する新たな事業を実施すべきである。特に「保育体制強化事業」は早急に実施すべきである。見解を伺う こども医療費の中学 3 年生まで無料化を、段階的にでも実施し、現物給付（窓口の負担の軽減）についても検討すべきである。見解を伺う こどもの貧困問題を解消するために、様々な施策が考えられるが、特にこどもの学習支援とそれに係る環境をより良くしていくことが重要であると考えている。以下見解を伺う。 (1) 学習支援をさらに充実させると共に、スクールソーシャルワーカーや児童自立支援員を増やし、各学校に一人ひとり配置すべきである。見解を伺う (2) 公民館や図書館、その他公共施設に、学習スペースを増やし、パソコンや I T 機器を充実させ、自主学習しやすい環境をさらに整備すべきである。見解を伺う

一般質問（４日目） 平成 27 年 12 月 14 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 交通安全対策と飲酒運転根絶について 6 福祉行政(孤立死を防ぐ取り組み)について 7 観光行政(国家戦略特区を活用したオープンカフェ)について 8 北朝鮮による拉致問題について	交通事故防止対策と飲酒運転根絶への取り組みを、さらに推進すべきである。そのためには、大人もこどもも、那覇市全体で取り組む施策が重要である 那覇警察所管内の市立小学校の全校に「交通少年団」が結成されているが、小禄地域の小学校には1校も「交通少年団」が結成されていない こどもたちの安心安全を守るために、小禄地域の小学校にも「交通少年団」の結成を促す取り組みを進めるべきである。見解を伺う 孤立死を防ぐ取り組みをさらに推進すべきである。見解を伺う 観光振興や街のにぎわいづくりの一つとして、道路を活用したオープンカフェが注目され、全国各地で道路を活用したオープンカフェが増えている 沖縄県が国家戦略特区に指定されたことで、那覇市においても道路を活用した常設的なオープンカフェを設置できる可能性が広がっている 他の都道府県にある道路を活用したオープンカフェは、街のにぎわいや観光振興の観点からも、一定の誘客効果があるものとするが、本市の認識を伺う 今月予定されている本市役所ロビーで開催する北朝鮮による拉致問題に関するパネル展について、もっと周知・広報すべきである。見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 27 年 12 月 14 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	高 良 正 幸 (新 風 会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 自主防災組織防災資機材 交付事業について 2 津波避難ビル建設事業について 3 那覇市民間建築物耐震化 促進事業について 4 第 3 次那覇市営住宅ストック総合活用 計画について 5 学校施設耐震化事業について	(1) 事業の目的と内容を伺う (2) これまでの経緯と今後の課題を伺う (1) 松山に県内初の津波避難ビルが平成 28 年 3 月に完成予定とのことであるが、特徴と今後の方向性を伺う (2) 津波緊急一時避難ビル協定の状況と問題点を伺う 事業の対象が「民間の住宅及び共同住宅」と「民間の耐震診断義務化建築物」の 2 つがあるが、その内容と実績を伺う (1) 目的と内容を伺う (2) 那覇市営住宅ストック総合改善事業と市営住宅ストック総合改善事業（防災安全）の相違点と内容を伺う (1) 目的と内容を伺う (2) 新しく改築する幼稚園と小学校、中学校の震災化について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 27 年 12 月 14 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	中 村 圭 介 (無所属の会) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 ソーシャル インパクトボ ンドについて 2 指定管理制 度のあり方につ いて 3 教育行政につ いて	那覇市でS I B（ソーシャルインパクトボン ド）を活用した場合の利点と懸念事項について見 解を問う (1) 協働プラザ及び市民活動支援センターの 管理運営について ① 市民活動支援センターの運営について 前身である NPO 活動支援センターに対す る 25 年度外部監査からの指摘をどのよう に反映させたのか問う ② 協働プラザができたことで 2016 年版 「協働型まちづくり推進のためのシステ ムづくり検討委員会」のような取り組みが 必要だと考えるが見解を問う (2) IT 創造館の指定管理について ① 指定管理者の選定にあたって IT 創造館 運営審議会の委員委嘱はどのような点に 配慮したのか問う ② 審議会委員と利害関係にある企業団体 から指定管理に応募があった場合の対応 について問う (1) 平成 26 年の市内中学生の補導人数は何 人で 25 年と比較してどうだったのか問う (2) 発達障がい者支援の取組の中で、教員等 が受講するティーチャーズトレーニングへの 学校側からのサポートの状況を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 27 年 12 月 14 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	糸 数 昌 洋 (公 明 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 文化財行政について 2 観光行政について 3 防災行政について 4 子育て支援について	9月下旬に、再開発事業が進められている旧那覇バスターミナル跡地から、軽便鉄道の遺構とされる転車台が出土発見された。遺構であるとの可能性はあるが断定はできない、との報道であったが、調査結果とその文化財的価値について問う 先月 12 日付で「めんそーれ那覇市観光振興条例施行規則」が公布された。来年 1 月 1 日より施行されることになるが、規則で定める迷惑行為の定義について問う (1) 今年 3 月、県は津波防災地域づくりに関する法律に基づき、県内における津波浸水想定を設定し公表したが、本市に関わる範囲について概要を問う (2) 電子版那覇市防災マップの利用状況と利用者の声について問う 今や、どの自治体も待機児童の解消を目指しており、今後は子育て世代にとっていかに便利で魅力ある施策を展開できるかが大切になってくる。総合戦略の施策の方向性で示した、子育てが楽しくなるまち「なは」の実現をめざし、以下提案する (1) 父親の育児への責任感を育むとされる「父子手帳」を発行する自治体が増えている。現在の親子健康手帳と併せて「父子手帳」を発行する意義について見解を問う (2) 子育て家庭のニーズに沿った情報提供を図るツールとして、世田谷区の「子育て応援アプリ」が注目されている。「子ども子育て支援に関する発信の充実」の観点から、事業の概要と本市での導入活用について見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長